

第79回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年5月30日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配布資料

第79回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○阿久津内閣府大臣政務官

・本日予定していた被災者生活支援対策説明会については、大雨の為中止し、後日改めて開催する。

・5月28日に中央防災会議が開催された。

・東日本大震災時の津波を科学的に検証し、今後の土地整備や津波対策に活用する。

○村井災害対策本部長

・大雨洪水警報並びに土砂災害警戒情報が発令されている。

・大雨で地盤がゆるんでいるので土砂災害に注意してほしい。

・河川の増水に注意してほしい。

・県民には市町ごとの避難勧告には従って頂きたいので、マスコミ報道よろしく願います。

○小野寺危機管理監

・死者については前回より27人増え、9,013人である。

- ・被害額について前回より約300億円増額し、2兆6,046億円である。
- ・現在のところ、市町村からの大雨による新たな被害の報告はない。

○若生災害対策副本部長

- ・JR等の被害額が計上されていないが、政府投資銀行の計算では6兆円を超える見込みらしい。

○仙台管区気象台

- ・月間雨量について、5月としては観測史上最高を記録した。
- ・昼過ぎがピークであり、今後は北部で注意が必要である。
- ・風について、特に夕方に警戒が必要である。
- ・満潮の時間帯は15時から18時で、浸水被害に注意してほしい。

○今野総務部長

- ・寄付金について、現在約66億円になった。

○伊藤震災復興・企画部長

- ・仙石線の矢本―石巻間は7月に運転が再開する見込みである。

○小泉環境生活部長

- ・福島第一原子力事故に係るモニタリング結果について低い数値で安定している。

○岡部保健福祉部長

- ・義援金について、5月25日時点で15万4千件、152億円である。

○河端経済商工観光部長

- ・商業、市町村所管の観光施設等の被害額が増加している。

- ・県施設の被害額はほぼ確定した。

○千葉農林水産部長

- ・6月の漁業再開に向けた水産物の放射能測定結果について、安全な数値であった。
- ・宮城復興応援米を取り扱う企業の協力を得て、6月2日から販売を開始した。
- ・1kgあたり5円の義援金付きであり、6月2日にイトーヨーカ堂仙台泉店でセレモニーが開催される。

○土木部

- ・災害査定の様子は資料のとおりである。
- ・6月は土砂災害防止月間に入り、各種活動を展開していく。
- ・大雨の影響で現在3ヶ所の道路の通行規制中である。

○三野宮出納局長

- ・6月1日以降の東日本大震災に伴う宮城県発注工事等について特例措置を行う。大きく3つのポイントがあり、まず、手続きの簡素化・迅速化として、総合評価落札方式について、施行計画等の提案を省略した「特別簡易型」を導入するなど行う。次に、被災者等の雇用の促進、受注機会の拡大として、総合評価落札方式について、施工地の地元企業に加点評価する「特別簡易型」の導入などによるものである。最後に、低入札対策の徹底として、失格判断基準を見直し、より適正な競争環境の形成と品質の確保を図る。

○自衛隊

- ・生活支援状況については、横ばいである。
- ・遺体捜索結果は、ここ3日間で6体収容した。

○竹内警察本部長

- ・ここ3日間で遺体を22体収容した。

○海上保安庁

- ・ここ1週間で遺体を2体収容した。
- ・航路標識63基被害を受け、現在59基を復旧した。

○東北電力株式会社

- ・現在303戸(停電率0.03%)停電しており、復旧の目途はある程度ついてきた。
- ・南三陸町は本日復旧の予定している。
- ・今後は状況を見ながら災害対策本部会議に出席する。

○小林教育長

特になし。

○伊藤企業局長

- ・大雨により濁度が高まる恐れがあるので、しっかり対応していきたい。

○村井災害対策本部長

- ・次回は6月2日10時00分に開催する。